

H29 年度夏季ドイツ語研修報告書

ウィーンってすてきなまち！！

都市教養学部 人文・社会系 宮坂 奈緒

わたしは第二外国語でドイツ語を習い、とても興味を持ったことと、もともと留学したいということが重なり、このプログラムに参加しました。今回報告書では、短期海外研修に興味を持った方への参考にもなるようにまとめました。

ドイツ語研修は、三週間のプログラムで、初日は大学でクラス編成テストを受け、翌日から平日は午前授業、土日は休日、最終週にはクラスごとのまとめテストがあるという形でした。

〔平日の一日〕

6:00 起床、走る
7:15 朝食、自由
8:50 寮を出る
9:15～13:00 授業
13:30 昼食
14:00～ ウィーン市散策
18:30 夕食
20:00 風呂、自由
22:00 就寝

ウィーンは夏でも涼しく、朝から寒かったです。気分転換に朝はジョギングをして、寮の友達と朝食をとりました。授業は先生によってキャンパスが異なりましたが、授業時間は同じでした。二つの休憩があり、日本よりも、休憩をうまく活用している学生が多いと感じました。お昼は遅めで、買って帰ったり、作ったり、カフェで食べたりしました。天気の良い日は観光もして、充実した日々でした。ウィーンの町はお店が閉まるのが早いのもあり、わたしの一日の生活リズムはかなりよかったかと思います。夜も時間があり、友達と話したり、宿題をしたり、よい時間を過ごせました。

平日でも毎日がとても充実していました。ただ、晴れると日差しが強く、曇るととても寒く感じたため、着る服には迷いました。

〔休日の一日〕

休日は友達と遠くへ出かけたりしました。ヨーロッパの多くは商業施設などが休日は空いていません。そこは戸惑いましたが、美術館などの施設は空いていたので、そのような場所で観光をしてきました。特に印象に残っているのが、電車で4時間かけて訪れたハルシュタットという小さな町です。楽しみにしていたものの、天気が悪く、寒さに耐え忍んだのが思い出になりました。とはいってもやはり4時間かけていく価値のある町で、建物や、展望台など、見るべきものがたくさんあって楽しかったです。

語学力に関しては、毎日ドイツ語に触れることで、かなり向上したと感じました。3週間では現地の方と会話ができるには至りませんでしたが、授業において日本で学んだ復習ができ理解が深まり、日常生活において多くの単語が身に付きました。そして、何よりもリスニング力が付きました。現地の人のドイツ語は早すぎてわからないことが多かったですが、帰国した後の授業のリスニングのとき、理解できていると感じました。

この3週間を通して、もっとドイツ語を身につけたいと感じたとともに、日本とは違う雰囲気を味わい特別な経験ができて良かったです。ウィーンというまちがとても好きになりました！